

(別紙4(2))

事業所名 グループホームカリヨンの郷「新千秋」

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 4 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	コロナウイルスが2類から5類へと変わったが、引き続き感染リスクがあるため、外出支援ができずにいる。	感染予防に配慮した外出が出来る。	密になる場所を避けるなど感染予防に配慮し、ドライブなど出来る限りの外出支援を行っていく。	6ヶ月
2	26	介護計画書の作成において家族と面談の機会を作るのが難しい。	家族と連絡の機会を増やして情報交換することが出来る。	出来る限り家族との日程調整を行って面談の機会を設け、面会時も含めて密に情報交換できるようにする。	12ヶ月
3	35	災害時における地域との協力体制や施設内の体制の充実が不安がある。	火災、地震、水害等の災害時に備えた体制作りと地域との協力体制を築くことが出来る。	災害時体制の見直し、運営推進会議での検討や、地域との協力関係を築けるようにしていく。	12ヶ月
4	13	施設外研修の機会が減り、オンライン講座の時間を作ることも難しい状況がある。	職員が希望する研修を受講できる機会を増やすことができる。	計画的に研修の受講できるように、職員がまんべんなく受講できる体制を作る。施設内研修の充実を図る。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。